

I. 重要沿岸域生物調査について

1. 目的

日本全国の干潟・藻場・サンゴ礁等の生物学的な類型区分等を目指し、

①全国の代表的な干潟・藻場・サンゴ礁・砂浜を対象に、生物群集に関する基礎的データを集積するとともに、各域の生物学的な類型区分等について検討する。

②全国調査に必要な簡便な調査項目・手法（都道府県委託レベル）の確立を目指す。

ことを目的とする。

2. 調査内容

重要沿岸域生物調査は、以下の3つの調査から構成される(図1)。

① 干潟生物調査

② サンゴ群集生物調査

③ 藻場生物調査

3. 調査対象地域

日本沿岸の代表的な干潟・サンゴ礁・藻場

4. 調査期間

平成9年度～13年度

5. 調査実施者

民間調査団体により調査を実施。

6. 進行

平成12年度は、藻場における生物相等について、現地調査及び総合解析・とりまとめを実施した。サンゴ礁についても、現地調査及び総合解析・とりまとめを実施した(図2)。

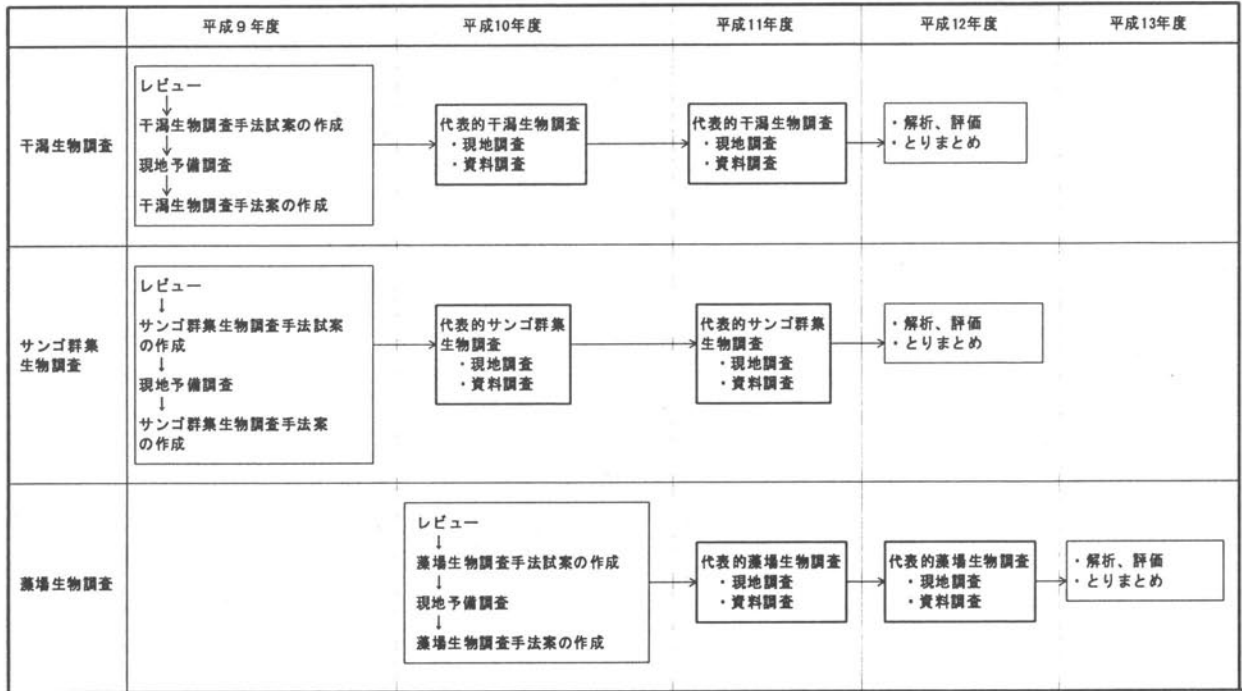


図1 重要沿岸域生物調査 全体予定フロー図



図2 重要沿岸域生物調査 作業フロー

7. 自然環境保全基礎調査検討会

重要沿岸域生物分科会検討員等名簿

(1) 検討員

秋山 章男	東邦大学理学部教授
内田 紘臣	串本海中公園センター取締役学芸部長
尾崎 清明	(財)山階鳥類研究所標識研究室長
菊池 泰二	九州ルーテル学院大学教授
寺脇 利信	水産庁南西海区水産研究所藻類研究増殖研究室長
西平 守孝	東北大学理学部教授
横濱 康継	志津川町自然環境活用センター所長

(2) 現地調査担当 (藻場)

i) 藻場

向井 宏	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 厚岸臨海実験所教授
仲岡 雅裕	東京大学海洋研究所助手
今野 敏徳	東京水産大学助教授
藤原 秀一	海中公園センター主任研究員
木村 匡	海中公園センター研究員
月舘真理雄	(株)水棲生物研究所代表
池森 貴彦	石川県水産総合センター
坂井 恵一	のと海洋ふれあいセンター
田島 迪生	石川県水産総合センター
東出 幸真	のと海洋ふれあいセンター
横濱 康継	宮城県志津川町自然環境活用センター所長
太斎 彰浩	宮城県志津川町海浜高度利用センター研究員
青木 優和	筑波大学下田臨海実験センター講師
土屋 康孝	筑波大学下田臨海実験センター技官
佐藤 壽彦	筑波大学下田臨海実験センター技官
品川 秀夫	筑波大学下田臨海実験センター技官
大野 正夫	高知大学海洋生物教育研究センター教授
芹澤 如比古	東京水産大学藻類学研究室研究生
長谷川和清	東京水産大学藻類学研究室大学院生
井本 善次	高知大学海洋生物教育研究センター技官

ii) サング礁

Robert van Woesik	琉球大学理学部助教授
長田 智史	琉球大学大学院

